

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成22年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	山梨県立八代射撃場	所管課	スポーツ健康課
所在地	笛吹市八代町竹居大口山	設置年月日 (改築年月日等)	昭和59年5月
管理方式	指定管理者((財)山梨県体育協会、平成21年4月1日～平成26年3月31日)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立射撃場設置及び管理条例		
設置目的	ライフル射撃競技の振興と競技力向上を図るため、県民に射撃の場を提供すること。		
主な施設内容 (定員等)	空気銃射撃場38座 ビームライフル射撃場6座 固定標的射撃場(スモールボア)26射座 駐車場台数:乗用車70台		
主な業務内容	○利用の承認に関する業務 ○施設及び設備器具の維持保全に関する業務 ○その他教育委員会が必要と認める業務		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・ 利用状況等	山梨県立韮崎射撃場(平成21年7月31日閉鎖)
-------------------	-------------------------

3. 利用状況

単位:人、%

		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度 (目標値)
利用者数	エアライフル	1,699	1,737	1,469	
	小口径ライフル	1,352	1,291	1,082	
	ビームライフル	479	483	567	
	利用者数合計	3,530	3,511	3,118	
	目標値	3,100	3,100	3,100	3,100
	目標値設定の考え方	近県射撃場が閉鎖していることや夏休みを無休営業とすることや、例年の実績を勘案して目標を設定した。	近県射撃場が閉鎖していることや夏休みを無休営業とすること、及び例年の実績を勘案して目標を設定した。	近県射撃場が閉鎖していることや夏休みを無休営業とすること、及び例年の実績を勘案して目標を設定した。	近県射撃場が閉鎖していることや夏休みを無休営業とすること、及び例年の実績を勘案して目標を設定した。
対20年度比	100.0%	99.5%	88.3%	87.8%	

4. 収支状況

単位:円、%

		平成21年度	平成22年度 (計画値)	平成22年度 (実績値)	平成23年度 (計画値)
収入	施設利用料	1,988,846	1,077,000	1,671,983	936,000
	指定管理者委託料	4,632,000	5,026,000	5,026,000	5,167,000
	その他	0	0	0	0
	収入合計(A)	6,620,846	6,103,000	6,697,983	6,103,000
支出	人件費	4,440,559	4,376,000	4,472,372	4,376,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	2,083,199	1,727,000	1,837,567	1,727,000
	(うち外部委託費)(B)	266,600	391,000	345,350	345,350
	支出合計(C)	6,523,758	6,103,000	6,309,939	6,103,000
収支差額(A-C)		97,088	0	388,044	0
外部委託比率(B÷C)		4.1%	6.4%	5.5%	5.7%
利用者一人当りの経費		1,312	1,432	1,612	1,667

※直営の年度は、県の収支を記入し、指定管理者施設の年度は、指定管理者の収支を記入する。
 ※利用者1人当りの経費の算定式は、直営(H〇～〇年)：(支出－収入)÷利用者数、指定管理者(H〇～)：指定管理者委託料÷利用者数。

5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期：平成22年6月、8月、11月、平成23年3月 実施方法：施設利用者へのアンケート、回答数：101人
-------	---

単位：%

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
①施設設備の整備状況	44.6%	51.0%	4.5%	0.0%
②利用予約・手続きの方法	52.5%	44.6%	0.0%	3.0%
③利用料金	54.5%	38.6%	3.0%	4.0%
④職員の対応、サービス	93.1%	6.9%	0.0%	0.0%
各項目の平均	61.2%	35.3%	1.9%	1.8%

※調査項目は、施設ごとに適宜変更する。

利用者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ビニールハウスなので雨の時うるさい。 ・ビニールで暖かい。 ・標的交換機を新しくしてほしい。標的の高さが変えられる機械にして欲しい。 ・屋外トイレを水洗にして欲しい。 ・姿勢点検用ミラーが欲しい。 ・標的交換機の改良を求む。 ・一日の料金を1000円に下げてください。
利用者の意見への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・施設整備改善については今後財政状況を踏まえて検討していく。

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	事業計画書どおり実施した。	事業計画書どおり実施されている。 引き続き事業計画書どおり適正に業務を行うこと。
運営業務	事業計画書どおり実施した。	事業計画書どおり実施されている。 引き続き事業計画書どおり適正に業務を行うこと。
自主事業	事業計画書どおり実施した。	事業計画書どおり実施されている。 引き続き利用者サービスに努めること。
利用状況	・3月の震災により大学等の合宿練習が軒並み中止となり影響が出た。 ・伊勢原射撃場の営業再開が遅れていることで、大きな落ち込みがなく推移したが全体的に競技人口が減少傾向にある。	震災等の影響により、利用者が少なくなったと考えられる。
収支状況	委託している業務を数年契約にするなどし、経費を節減することができた。	経費削減が図られており、経営努力の成果がうかがえる。今後も適正な施設の管理運営を行うこと。
利用者満足度	施設改修(改善)の要望が多い。	事業計画書どおり実施されている。
運営目標の達成状況	利用者数の目標値3,100人に対し、3,118人の利用実績があり目標値を上回った。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	平均の満足度は61.2%であるが、これは普通の意見が多く、これが影響している。また、施設維持業務、運営業務ともに事業計画書どおり業務が行われている。利用者が減少したにもかかわらず黒字となっているおり、経営努力の成果がうかがわれる。今後も適正な施設の管理運営またPR活動等に努めること。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	今後も協定及び事業計画書提等に基づき適正に対応することを確認した。	

7. 管理体制(組織図)

